

今日の説教のポイント <ルカによる福音書2章1~20節>

①宿屋に泊まれなかったイエス様が今の私たちを励ましてくれる！

私たちは今日、教会ではない場所でクリスマス礼拝を捧げています。そんな今、イエス様が宿屋にも泊まれず家畜小屋の飼い葉桶の中で生まれられたことを思う時、私たちの状態はどれほどのことかと思ひ、励まされるのです。このような恵まれた場所を用意されたことを喜び、提供して下さった人々と神様に感謝しなければなりません。この個所を通してもうすでに一つ、神様からのクリスマスのプレゼントが与えられたような気がします。

②どんなライトアップよりも明るい主の栄光が私たちも照らす！

仙台光のページェントが注目を集めています。見事な輝きが震災した人々に明るい気持ちを与えてくれるのです。また、今年は、光を当てて幻想的な光景が生み出されているニュースを多く目にしました。イエス様誕生の今日の箇所にも、「**主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼ら（羊飼いたち）は非常に恐れた**」(9)とあります。仙台の場合のように、光は確かに闇を照らし、不安を取り除き、まだ見ぬ将来に向かって歩み行こうという勇気と希望を与えてくれます。それは、神様が造られたこの世の光というものの中に、神様の私たちを思う思いがすでに込められているものだからではないでしょうか（創世記1章）。この個所の光の照らしにもそれは感じますし、それがさらに「**主の栄光**」だからより確かな光、照らしなのです！「**恐れるな**」(10)と天使は羊飼いたちに告げ、彼らはイエス様を見て、この神様に信頼して歩むようになっていったのです。

③クリスマスの喜びは、そのイエス様の死と復活で頂点に至る喜び！

羊飼いたちは天使から告げられた印を確認しました。それは、もし成功とか富裕とかいったものを価値ありと考えるなら、何の印にもならない飼い葉桶の赤子でした。一体、クリスマスの何がそんなに目出度いのでしょうか？ それは、クリスマスが十字架の死に至るまで私たちを愛し抜いて下さるお方の誕生だったからです！ この方を通して、私たちはどんな者でも神様に愛されている存在であることを知ることができたからです！ 神様からの最大のプレゼントです！